

大成功

ベイトウンまつり終わる

'98 幕張ベイトウンまつりが終わりました。当日は好天に恵まれ、模擬店出店者の読みは的中、ビールも、ジュースも焼き鳥も、おしるこも、そして忘れてはいけないバーベキューもすべてを売り尽くしました。プロムナードは人であふれ、住民主催の手作りのまつりとしては大成功でしょう。改めてベイトウン住民のパワーを感じました。各サークルの皆さんご協力をありがとうございました。小学校「打瀬の会」、中学校「パティオスの会」の皆さん、突然のお願いにも関わらず、お手伝い感謝します。各番街自治会からご協力に出てくださいました皆さん、大変ご苦労様でした。舞台ステージの設営とゴミ収集ボックス、大型のバーベキューコンロは SH-1、H-1 地区工事中の建設会社が二つ返事で引き受けてくださいました。バーベキュー会場の野外用のイスは幕張メッセが早く貸して下さいました。会場用地とプロムナードは企業庁千葉建設事務所が使用を許可してくれました。そのほか有形無形のご協力を頂いたみなさんに感謝します。このまつりは皆さんの熱意がなければ成功しませんでした。最後にこの祭を企画し、実行したベイトウンまつり実行委員会の皆さんに感謝します。委員の皆さんの左遷が無いことを祈ります。どうもありがとうございました。

巷の声

バーベキュー広場のお手伝いをした小谷崎です。準備段階では、「閑古鳥が鳴いて食材が無駄になったらどうしよう」等、今となってはいらぬ心配をしたものですが、お天気に恵まれ、予想以上の大盛況。足りなくなった調味料の買い出しに“今はなきサンプルー”や“ふらいぱん”を行ったり来たり、気づいた時には万歩計の数値が3万を越えていました。何はともあれ「めでたし、めでたし」でした。

お祭り当日、ゴミ拾いをしていて驚いたのは、皆さんのマナーの良さです。人の数の割にゴミはほとんど落ちておらず、嬉しくなりました。お祭りのあと、カナダ旅行に出掛けましたが、人の集まる観光地でのゴミの少なさに感心しました。きっと美しい街を美しく保とうという、街を愛する人々の気持ちの表れだろうと思います。

私達の幕張ベイトウンもいつまでも綺麗な街であり続ける様に、皆の心掛けで守って行きたいですね。

PS 来客用駐車場の隅に溜まっていたゴミだけが気懸かりです。
#11-502 小谷崎

はじめて参加して、リサイクルショップを見て歩いたりして楽しめました。思ったよりいろいろな催しがあった感じです。ただ、綱引きに出たいと思っていたのに、会場に行ったらもう始まっていて参加し損なったのが残念です。綱引きの場所がバーベキュー会場あたりにあるともっと盛り上がったのではないのでしょうか。全体にメインになるのがどこなのかわかりにくかったと思いますが、来年も楽しみにしています。

17 番街 佐藤

来年は転勤で大阪に居ますが、I shall return! ベイトウンまつりにはきっと帰ってきます。(8 番街 某氏) 来年は子供を預けてもお店を出したい。(30 代主婦) これほど盛り上がったのは学生時代以来。来年は 100 円値上げしても儲かる。(某出店者)

大収穫祭のお知らせ

まつりは終わらない

ベイトウンまつりの時にみんなで蒔いたひまわりのタネが立派に芽を出しました。と言っても、これはこの記事を書いている 5 月 13 日のこと。今はもう双葉もなくなり、人間で言えば小学校高学年くらいに育っているはず。このひまわりは「ロシア種」という種類で、うまく育てば巨大な花を咲かせます。古い方ならご存知の映画「ひまわり」で、ロシアの野原一面を見事な黄色に染めていたものと同じ種類で、ヨーロッパではこのタネを食用油にしたり食べたりしていました。ちょうど、日本で菜の花を食べたり、ナタネをしばって菜種油として使っていたのと似ています。そう言えば、色も同じ黄色で似ていますね。

ひまわりの花ひとつからは、約 2,000 個の種がとれます。蒔いたのが 1 万本、仮に半分の 5,000 本から種が取れたとすると、2,000×5,000 で約 1 千万個の種が収穫できます。これだけあれば小学校のリスの 1 年分の餌としては充分でしょう。余ればまた来年まで、ベイトウンをひまわりの花で埋めることもできます。

しかし、1 千万個のタネの収穫は大変です。ちょっと考えただけで、タネまきの時よりもたくさんの人手が入りそうです。そこで、どうせならタネの収穫もイベントにしてみようということで「ひまわりのタネ大収穫祭」を行います。時期は 9 月下旬から 10 月頃、当日はタネの収穫の他に、イモの収穫も行い「いも煮会」も計画しています。指導は勿論、中学校の渡辺校長先生。

ひまわりの種まきのことは地域と学校との連携した行事として新聞等の各メディアからも多くの取材が来ています。この記事が出るころはいくつかの新聞やその他メディアで紹介されているかも知れません。

What is

ベイトウンこむ

こむ？

Part. 1

幕張ベイトウン自治会連合会とは？

ベイトウンに自治会連合会ができて1年がすぎ

ました。ベイトウンニュースの広報不足もあり、

自治会連合会（ベイトウンこむこむ）とは

なんぞや？が上手く伝わっていません。

今月号と来月号の2回に渡り記事を掲載します。

自治会連合会と“ベイトウンこむこむ”とはどう違うの？

ベイトウンの街区ごとの自治会をまとめる役割の「幕張ベイトウン自治会連合会」は正式名称で、「ベイトウンこむこむ」は愛称です。こむこむとはコミュニケーション&コミュニティの略です。

連合会の構成メンバーは？

基本的にはベイトウンの住民全員が構成メンバーです。現在、街区の単位自治会がある9つの街区とその他の街区のオブザーバーが会合に出席しています。各街区からの正式メンバーは2名ずつで、議決権は1名だけに与えられます。しかし基本的には多数決で物事を決めない合意制としており、きわめてゆるやかな形態をとっています。

会合への出席者には、各常設・特別委員会の代表も含まれます。

どんなことを話し合っているの？

各街区の問題は単位自治会で決める事になっていて、連合会は街全体にかかわる話題やベイトウンの対外的な窓口の役割をしています。

具体的には、交通問題や青少年育成委員会そして先日のベイトウン祭りの開催などが話し合われています。

具体的な活動方針は？

ベイトウン全体でなくては解決できない問題に対処したり、「街」としての声をまとめて地域社会との窓口的な役割を、特定の政治・宗教・思想にくみしない方針で活動しています。

活動のための資金はどうしているの？

97年度の活動は9つの街区から1戸あたり800円の計算で連合会の活動資金が拠出されました。

※また、イベントなどを行う場合はスポンサーを見つけてまかなう様にしています。

そのお金はどんなことに使っているの？

各常設・特別委員会には5万から10万の範囲で予算が給付され活動の原資となっています。

基本的に飲食への使用は認めていません。ちなみにベイトウンニュースの発行は全額、毎号に掲載される広告収入でまかない、ベイトウンに全戸配布しています。もちろん連合会の役員も全員ボランティアで活動しており、連合会の専従スタッフはいません。

詳細の会計報告は来月号に掲載します。

連合会の役員はどうやって決めているの？

各街区の代表の中から互選で決めています。将来的に全ての街区で単位自治会が結成されたあかつきには、住民投票なども面白いかもしれません。

連合会にはどんな委員会があるの？

現在、この新聞を作っている「ベイトウンニュース編集局」のほか、「交通委員会」「防災委員会」「環境・美化委員会」「コミュニティコア研究委員会」「文化・スポーツ委員会」「イベント委員会」があり、その中でいろいろなグループが活発に活動しています。

今後はどんな方針で活動するの？

連合会は旧来型の自治会とは違ったものを目指して活動してきました。しかしまだ1歳なのでよちよち歩きです。柔軟な姿勢で街の姿に合わせて変化・発展していきたいとおもいます。

「無理をしない」「義務にしない」「楽しもう」をコミュニティ活動を続けていく上でのキーワードにしていきます。住民の皆さんのより一層のご協力をお願いいたします。

来月号では5月31日の連合会総会の結果を受け、昨年度の活動報告・会計報告・活動方針・予算案などを掲載いたします。 (金)

"校内農村留学" / 打瀬の子の田植え体験 /

この街唯一の水田が打瀬小学校にあるのをご存じですか？ STS(Science, Technology and Societyの略、科学と技術や社会との相互関連を図った教育活動のこと)の視点から子供と共に造りました。STSの考え方で教育活動を進めると、開墾・田植え・水の管理などの活動を通して、子供たちは、植物の生長の様子や農家の方の苦勞、消費者としての自らの生活の在り方などを総合的にとらえる事ができます。

今年は、5月11日(月)に田植えをしました。苗を植えたのは5年児童。「5年ちびっ子農業物語」というテーマのもとに主に理科と社会の内容を総合した学習(本校ではこのような学習を「うたせ学習」と言っています。)の中で実施しました。自然に触れる機会の少ない打瀬の子供たちにとっては刺激的な出来事だったのか、手足を真っ黒にしながら泥と格闘していました。

でも、貴重な体験を通して子供たちは様々な事を学びました。次の作文はその時の感想の一部です。

田に入る前は、「なんかぬるぬるしていて気持ち悪そうだね。いやだな」「本当だよ」と友達と話をしていました。だけど、入ってみると楽しくなりました。入る前のドキドキは、もう全然ありませんでした。転びそうになったので、白井さんとしっかり手をつないでいました。苗は一人3カ所に植えました。

田植えが終わって。私は「昔の人達は、こんな風にもいつも田植えをしていたんだな。大変だな」と思いました。今日、いろいろなことが分かりました。特に、苗の半分以上が水につかってもだいじょうぶだということにびっくりしました。水の管理もがんばりたいと思います。早くおいしい「もち米」を実らせてね。

(5年1組 牛島愛美)



打瀬小から
教頭 宋倉 喜巳



一万本のヒマワリ

5月9日(土)、一万本分のヒマワリのタネを蒔くことができました。2月に打瀬小学校でソニーの研究大会が開かれた時、中庭に大きなリス小屋を見つけました。こどもたちに動物を飼う楽しみを体験させたいとの願いでリス小屋を建てたと聞きました。リスは何匹いるのですかと、質問すると二匹とのことでした。大きなリス小屋に二匹のリス。リスの餌のヒマワリが高い。だから多く飼うことはできないとのことでした。この話を聞いたとき、「そうだ、中学でヒマワリを育てその種を小学校に贈ろう」と思いました。そこで、ヒマワリをどこに植えるかの場所さがしをしました。

ベイタウンニュースの松村さんが中学校に見えた時、この話をしました。しばらくすると、松村さんからこの地域には《ひまわり会》がある。ひまわり会の人から一緒に種を蒔きたいとの声がある」と教えて頂きました。

5月9日には大勢の人が種蒔きに参加してくれました。お母さんに手を引かれた小さな子が、手のひらいっぱい種を蒔いてくれました。

これからは、中学生が手入れをしますが散歩の途中にヒマワリの様子を見に来てください。打瀬の街が黄金色で彩られたことを想像するだけでも楽しくなります。

秋には、リスが食べきれないほどの種が収穫できることを期待しています。

(種は千葉市からの支援をいただきました)

打瀬中から 校長 渡辺 昭



ベイタウンから翼への直送便

DIRECT ACCESS TO AIRPORT



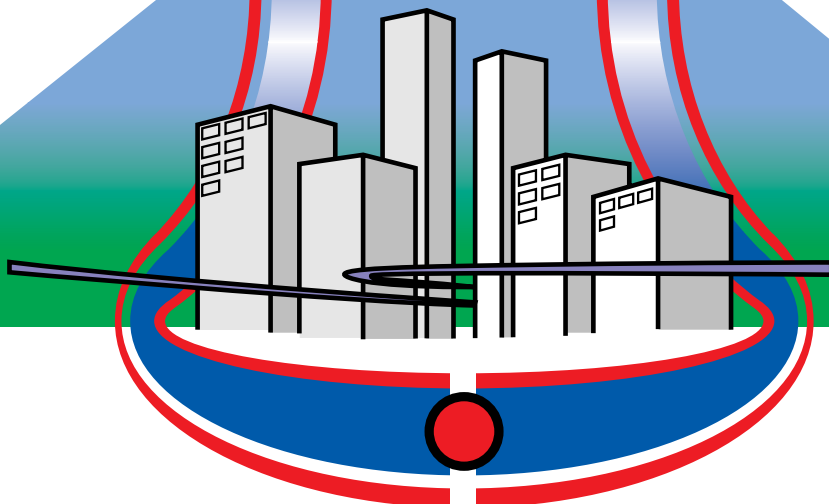
成田空港

NARITA AIRPORT
1日1便
片道1,100円

Keisei

羽田空港

HANEDA AIRPORT
1日2便
片道1,100円



ベイタウン・海浜幕張

BAYTOWN・KAIHIN-MAKUHARI

京成空港高速バス

AIRPORT LIMOUSINE KEISEI

海浜幕張より高速バス(いわき・奈良・和歌山・岡山方面)毎日運行中!!

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

お問い合わせ先.....

京成バス千葉営業所

京成バスサービスセンター

☎043-433-3800

☎043-222-6004

(9:00~19:00、日祭日は~18:00)

祝

ベイタウンニュース発行1周年！

◆新聞づくりはスポンサー探しから始まる

『ベイタウンニュース』は新聞の独立性を守るために、自治会連合会に金銭的に頼らず、広告費と編集局員のボランティアだけで編集・印刷を行っています（すなわち、皆さんの負担はゼロです）。スポンサー探しは平日が多いため、会社を休まなくてはならないこともあり、門前払いを食わされることもあります。これから発行部数が増えることも予想され、頭の痛い問題です。



◆情報を持ち寄って編集会議

その時のその時の住民に知らせたい、あるいは住民が知りたいだろうタイムリーな情報を持ち寄って誌面構成を行い、それぞれの編集分担を決めます。…と書くと簡単ですが、実情は、仕事の疲れを引きずりながら夜9時頃に集まり、ビールを片手に編集会議は脱線に脱線を重ねながら深夜に及ぶこともしばしば。

ともすると手抜きやマンネリに陥ってしまいそうになる気持ちにストップをかけるのは、やはりベイタウンニュースへの思い入れがあるからかもしれません。

◆取材・原稿作成・レイアウト

各編集局員は必要に応じて取材や写真撮影、原稿依頼、イラスト作成などを行い、でき上がった原稿をパソコンを使ってレイアウトします。ここではそれぞれが編集作業と本業の時間をやりくりしながらの孤独な作業。締め切りに間に合わない！と毎月綱渡りを演じています。本当はもっと掘り下げた企画を時間をかけてやりたいというのが編集局員全員の思いなのですが…。



◆校正・修正

プリントアウトした誌面を他の編集局員の意見を聞きながら修正を加え、最終原稿に仕上げて都内の印刷会社へ送ります。あとは神のみぞ知る！

◆配布

でき上がったベイタウンニュースは、毎月第1土曜日に住民有志の方々のご協力で各戸のメールボックスに配られます。現在の発行部数3,000部。

以上、新聞ができるまでをご紹介します。これからもベイタウンらしい新聞づくりをめざして頑張りますので応援して下さい。（編集局員一同）

これまで1面を飾った記事

創刊号 発刊にあたって・連合会って何？
2号 自治会連合会発足／超高層住宅＋核店舗建設始まる
3号 ベイタウンに住む仲間～野鳥編
4号 ホームページ開設
5号 SH-1街区・H-1街区
6号 ベイタウンコンサート

7号 クリスマス
8号 ベイタウンこむこむいろはがるた
9号 12星座の話
10号 リンコスオープン
11号 溜先生／ベイタウンブリッジ
12号 ベイタウンまつりマップ
13号 ベイタウンまつり

移動図書館がもうすぐ打瀬に

「移動図書館」って、聞いたことありますか？子供向け大人向け、いろいろな本を積んで廻ってくるバスのことです。千葉市では「いずみ号」という名前が付いています。

この「いずみ号」が打瀬に来たら…という図書館研究会からの提案にこたえて、移動図書館のお手伝いをしてくださる方（ステーションマスターと呼びます）が集まってくださり、いよいよ巡回が具体化してきました。バスの停まる場所、いつからスタートするかなど詳細は各番街の掲示板などでお知らせします。



◆問い合わせ先：青木（211-0074）、慶田（211-0865）
千葉市移動図書館係：椎名・安西 221-2751



ベイトウン保育日記6 めぐみ幼稚園

「幼稚園は子どもにとってパラダイスであるべきだ」という園のポリシーのもと、子どもたちは毎日めいっぱい遊んでいます。また絵本教育にも力を入れており、先生たちに絵本を読んでもらう機会も多く、ほとんどの子どもが絵本好きになるようです。

「食」についてのこだわりもこの園ならではの、園長と食べ物に対する考え方が一致したという、自然食材だけを扱っているお店から、給食用のお弁当を届けてもらっています。

大きな行事は夏まつり、運動会、園児作品展覧会、ひなまつり発表会などですが、何事も子どもの気持ちが第一と、行事のための強制的な練習は行いません。ですから、整然とした行進は見られないかもしれませんが、そこには心底満足げな子どもたちの笑顔があることだけはお約束します。

■保育時間 月火木金 9：00～14：00（預かり保育 14：00～16：00） 水土 9：00～11：30

■制服 紺のブレザー、紺のズボン又はスカート、白のブラウス、赤のリボンタイ、紺の帽子（夏は麦わら帽子）

■食事 月金 給食（希望制） 火木 お弁当

■千葉市美浜区高浜3丁目2番1号 TEL278-3502



（ベイトウンへの送迎バス有り）取材／5番街301号 竹谷

日本庭園を歩いてみませんか —見浜（みはま）園

来る6月15日「千葉県民の日」に見浜園が無料で開放されることをご存じですか？庭園の門に一步足を踏み入れるとそこはもう別世界です。園内にある茶室の椅子席では手軽にお茶を楽しむこともでき、外国のお客様には大変喜ばれています。ご来園をお待ちしております。月曜日休館。
問い合わせ：TEL296-0110
県立幕張海浜公園管理事務所長 大橋朝馬

誕生当初は、はたして資金繰りが続くのか、月1回のペースで出していけるのか全く不透明な状態でしたが、金さんの多方面に渡る働きかけとスポンサー各位の我々の活動に対するご理解と期待のおかげで満1歳の誕生日を迎えることができました。運用面で自信ができた今、内容の充実と読者の皆さんとのコミュニケーションの確立に賭ける2年目としたいと思います。（P.S. ベイタウン祭では「駄菓子屋板東家」への多数のご来店ありがとうございました。来年もグレードアップして「板東家2」として出店したいと思います。）編集：1番街210号室板東司
(T/F 211-0289) (e-mail:tbando@dp.u-netsurf.or.jp)

かるがも館の隣りに自転車練習場が完成しました。自動車の教習所のようにコースがあり、周りには芝生も植えて脱輪しても大丈夫。幼児の自転車練習にも十分な広さが確保されています。こんな立派な自転車練習場を作ってくれるとは、ずいぶん粋な取り計らいで感謝します。でもこれ、公園だという声もありますが、それにしても…。どうなんですかねえ。誰か教えて下さい。技術：10番街612号室松村守康 (T/F 211-6853) (e-mail:m-matz@mxq.meshnet.or.jp)

この1年、始めたばかりのM A Cと悪戦苦闘しながら、慣れない写真を撮り、つたないイラストを描き、苦手な早起きをしてラジオ体操の取材にも行きました。それでも続けられたのは、誤解を招くかもしれませんが、人のためにやっているのではなく自分が楽しいからやっているということに尽きるように思います。これからもベイトウンライフを楽しめる情報を提供したいと思います。

タウンスケッチ記者：3番街310号室佐藤則子
(T/F 211-0090)

ベイトウンニュースは「カタログのような新聞」を目指して作ってきました。

この1年一番苦労した事は、スポンサー探しでした。当初は一業種一社をポリシーとして掲げていましたが、難航し、ホテルフランスとヤナセ稲毛営業所に2回ずつ広告を掲載して頂き乗り切りました。

しかし、その後いろいろな企業から協力の申し出があり、今後は安定的な運営が見込まれます。誌面をお借りして、広告に協力頂いた企業の皆様にお礼申し上げます。悩みは皆さんからの投書が最近無い事です。つねに新鮮な情報と改善をしていく為には皆さんの「生の声」が必要です。より良い誌面づくりへの協力をお願いします。

企画：3番街220号室金一剛 (T/F 211-0388)
(E-Mail:ikkim@xa2.so-net.or.jp)